

2021年度の事業報告書  
2021年5月1日から2022年4月30日まで

特定非営利活動法人ratik

1 事業の成果

今期もまた、新型コロナウイルス感染症の拡大継続により、事業活動に大きな影響を受けています。一方で、この間、人々は、罹患の不安を抱え、感染予防のため生活全般にわたり制限を受けてきました。その中には、ratikのパートナーである研究者・実践家も含まれ、例えば、対人接触を前提とする研究・実践に支障が生じるとともに、対面／オンライン、2つの形式で講義を準備するための負担などで公務が増えたため、書籍の企画、原稿執筆など研究・実践に関わる発信に支障が生じています。他方で、状況の長期化に伴い、webを介したコミュニケーションがデフォルトとなった今、ITを駆使して本来の目的を達成しようとする流れも力強く生じてきています。元々電子書籍など新しいメディアを介した学術・実践のコミュニケーションの活性化を指向してきたratikも、その例外ではありません。webを介した表現の可能性を多くの人々が気づき始めた今、ratikでは、新たな需要を見極め、持てる力を多様に発揮していきたいと考えています。

学術専門書の電子出版事業で、今期は4点の新刊を発行することができました。うち3点は、ワークショップなどで配布し、持ち帰って復習してもらえよう、手に取りやすい判型、質感の良い用紙を使った冊子体でも提供できる体裁に仕上げています。ratikでは「オンラインで伝えられること／対面でしか伝わらないこと」に敏感に、今後とも仕事を進めていきたいと考えています。なお、今年度、既刊本を含めた電子書籍ベースの年間総販売冊数（有償分）は342冊になっています。

ratikで企画・編集・制作・公開を担当している〈身〉の医療研究会の機関紙「〈身〉の医療」については、最新・第6号を発行しました。

また、創刊からratikが編集事務局を務める日本マインドフルネス学会の査読付き機関誌・電子ジャーナル「マインドフルネス研究」は、念願だったJ-Stageの掲載申請が通り、最新巻号をJ-Stage上で発行するとともに、既刊巻号のJ-Stageへの移行作業を完了しました。今後、各採択論文の参照機会が増えていくことでしょう。

今年度、沖縄開催が予定されていた日本マインドフルネス学会の第8回大会は、オンライン開催となりました。ratikは、参加者募集のシステムの構築、参加応募や視聴などのプラットフォームとなる大会webサイトの構想・制作はじめ、長い期間にわたり、大会準備・運営のお手伝いをしました。大会期間中は、過去大会の規模を上回る300名を超える登録者の方々のお役に立てたと考えています。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に関わる事業

主に人文・社会科学系の諸学問や、学問に根ざす各種実践に係る専門図書の新刊を電子書籍等として企画・編集・制作・販売する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
電子書籍の企画	既存文献等の探索	(A) 不特定 新刊4点の発行、 計26点の書籍の販売・公開。 うち13点については印刷・製本の オプションサービスを実施。 また2点をAmazonPODを通じて販売。	(D) 著者ならびに読者 研究者・実践家を 中心に広く市民一般  (E) 不特定多数 年間の書籍売上部数は 電子版342冊 印刷・製本版79冊	1,952,695
	学会、研究会等の聴講			
	執筆者候補とのやり取り 編集会議			
電子書籍の編集・制作	編集・校正作業	著者と新刊を企画・制作中。		
	電子書籍ファイルの制作			
電子書籍の販売	販売システムの構築、改良	学会・研究会の査読付機関紙等 (電子ジャーナル) 発行に伴う 編集事務局業務の継続、 2021年9月、12月には、 当該年度号を発行。 うち1誌はJ-Stage搭載を実現。  (B) アウトプットの電子書籍は、 ratikの法人web サイト上で販売 <a href="https://ratik.org">https://ratik.org</a>  (C) 2人		
	販売システムの運用			
	広告・宣伝活動			

上記の出版事業や、学術・実践の発展、ひいては豊かな市民社会の形成に資する情報を  
収集・整理・発信する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
情報の収集	既存文献等の探索 学会、研究会等の聴講 研究者・実践家とのやり取り	(A)不特定 学会・研究会の査読付機関紙等 (電子ジャーナル) 発行に伴う 編集事務局業務の継続、 2021年9月、12月には、 当該年度号を発行、 後続号を企画中。 うち1誌はJ-Stage搭載を実現。  マインドフルネス学会第8回大会 (オンライン開催) の運営業務 を実施 (2021年5月～2022年2月)。  (B)成果物の一部は、 ratikの法人web サイト <a href="https://ratik.org">https://ratik.org</a> あるいは 学会・研究会webサイト等 <a href="https://mindfulness.jp.net/">https://mindfulness.jp.net/</a> <a href="http://minoiryu.org/index.htm">http://minoiryu.org/index.htm</a> にて公開されている。	(D) 研究者・実践家を 中心に広く市民一般  (E) 不特定多数 マインドフルネス学会 第8回大会の参加者数 は約300名	1,601,504
情報の整理	情報の体系化や重みづけ			
情報の発信	自社webサイト等での 情報発信 サイトの管理、更新	(C) 2人		